

令和2年度 オープンミーティング 議事録

テーマ	芦屋市の新たな行財政改革について
-----	------------------

日時	令和2年10月17日(土) 10:00~11:30 まで
場所	市民会館(401号室)
参加者	39名
行政出席者	いとう市長, 佐藤副市長, 福岡教育長

意見交換の概要は、次のとおりです。

★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【⇒赤字】で表示しています。

★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況と異なるものもあります。

【ご質問・ご意見等】	
1	<p>(質問・ご意見)</p> <p>財政健全優先化に疑問がある。行財政改革は手段であり、芦屋の歴史を踏まえ将来ビジョンを示し若い世代移入を促す戦略投資が必要ではないか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>お金の効率化だけではありませんが、行政を運営していくにあたり、お金は大事だと考えています。ただ、少子高齢化が明日明後日でどうなるかという状況ではないので、今から準備を進め、人口減少の本格化に備えてまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
2	<p>(質問・ご意見)</p> <p>市長からの指示に対し全職員がコスト削減にアイデアを出し、目標づくりをしているのか。収入対支出のコスト意識が各部署にあるのか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>職員は認識していると思いますが、さらに徹底していきます。</p> <p>また、行財政改革計画の策定にあたり、職員を対象に行財政改革のアイデアを募集しました。業務改善等に関する様々なアイデアが出され、職員一人一人が日頃から業務改善やコストに対して意識しながら業務にあたっていると認識しています。</p>

3	<p>(質問・ご意見) 非常に難しいが、誰もが不公平感を持たないで済む改革をお願いしたい。</p> <p>(市からの説明・回答) 努力をしていきます。</p>
4	<p>(質問・ご意見) 基本的な考え方はこの通りだと思うが、どのように具体化していくのか都度の意見交換が大切である。</p> <p>(市からの説明・回答) しっかりご理解していただき、合意を得られるように努めます。</p>
5	<p>(質問・ご意見) まだこんなに赤字とは知らなかった。過去の指導者の認識を変えない限りダメだろう。自分から動ける人材を育ててほしい。</p> <p>(市からの説明・回答) 主体的に動ける職員の育成には力を入れていきたいと考えています。</p>
6	<p>(質問・ご意見) 歳入増の具体策がもっと必要ではないか。</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒ふるさと納税における返礼品以外のPRとして、寄附金の使い道の情報発信や、ネーミングライツの導入に向けた事前調査に取り組んでいるところですが、その他の新たな歳入の確保策についても、引き続き研究・検討を進めてまいります。</p>
7	<p>(質問・ご意見) 職員人件費が芦屋市は高いと聞くがどうか。</p> <p>(市からの説明・回答) 職員人件費は職員の年齢構成の関係で高く見えてしまっていますが、職員の数としては多くはなく、平均的です。</p>

8	<p>(質問・ご意見)</p> <p>日本国内9万人都市の中で当市の位置はどこか。上位，中位，下位。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>人口9万人規模としては，一般会計予算の額は比較的大きいと考えています。芦屋市は質の高いサービスを提供しており，例えば，子育て支援では良く注目されている「〇〇無料」のような施策は考えていません。今年から開始した産後ケア事業は専門の医師がいる病院で行い，子育てに不安を抱えているお母さんをサポートする等，質の高い支援を行っています。</p>
9	<p>(質問・ご意見)</p> <p>効率化は集中を目指すことになる。効率化すると市民サービスの低下になる分野もあるが，それはどうするのか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>そこはしっかりと話し合いたいと考えています。今まで人口増加に合わせて公共施設を増やしてきましたが，人口規模に見合った将来も持続可能な施設数とする必要があると考えています。ただ単に削減するのではなく，利便性の向上やサービスの維持・向上を進めながら，効率化を図っていきます。</p>
10	<p>(質問・ご意見)</p> <p>芦屋浜地区の考え方について。人口減少になると広げたものを狭めていくという考え方になる。芦屋市は浜を埋め立てて広げたが，人口密度や交通の便を考えると今後芦屋浜地区をどうしていくのか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>芦屋浜・南芦屋浜地区では，潮芦屋がまちづくりの最中なので，そこも考慮して考えていきます。</p> <p>公共施設のサービスのあり方として，従来は建物があり，そこに来ていただくのが大きな概念でしたが，今後は自宅に居ながら受けられる行政サービスも十分考えられると思います。</p>

11	<p>(質問・ご意見)</p> <p>現在の市の収入の全国レベルはどんなものか。市職員の給与の全国レベルはどのようなものか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>芦屋市の市税は市民税が半分以上ですので、景気に左右される可能性もあると考えています。来年度の収入に関してはしっかりと注視していきます。</p> <p>職員の給料に関しては全国平均並みです。職員の採用を一時期止めていた時期があり、そこで歪みが出てしまっています。50歳過ぎくらいの職員が少なく、若い時期に課長・係長になるため、トータルで見ると高くなってしまっています。</p>
12	<p>(質問・ご意見)</p> <p>RPA や AI の導入について、今の段階で具体的にどのようなことを考えているのか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>コロナ禍で急速にデジタル化が進んでいます。今年度から RPA に関しては取組を始め、残業時間が多い部署から実施し、活用できるところに広げていきたいと考えています。</p>
13	<p>(質問・ご意見)</p> <p>デジタルのメリットを多くの市民に行き渡らせるためには、デジタルインフラの整備が必要。市民の家計の状態等によってデジタルの格差が現れるので、公民館と公共施設に最先端のインフラを整備してほしい。そうすることで、なにかあった時にそこに行けば使えるというのが市民にもありがたい。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>デジタル格差に関しては、Ashiya Free Wi-Fi を整備しており、行けば使える状況を作っていると考えています。今年4月以降にコロナで小中学校が一斉休校になった際、オンラインで情報を伝えるため、インターネット環境がないご家庭にも行政からモバイルwi-fiをお配りし、格差が生じないようにしました。今後、小中学生に一人一台タブレットを貸与しますが、自宅でも使用できるようなサポートをしていきます。</p>

14	<p>(質問・ご意見)</p> <p>市民サービス向上の指標こそ必要である。行財政改革の成果を市民に見える化する。お金を節約することは大事だが、節約しすぎて芦屋市民の暮らしの中での楽しさや良さが見えなければどうなのか。暮らしというものを含めた指標が欲しいが、どう考えているのか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>指標について、住民サービスやサービスに対する満足度を数字にして出すことは難しいと考えていますので、アンケート調査やこのような場所でご意見等を頂くことで評価をしていきたいと考えています。</p>
15	<p>(質問・ご意見)</p> <p>本日参加していない方も含めて、提案方法はどうすればいいのか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>今回はコロナもあり事前申し込み制にしましたが、折に触れてオープンミーティングは実施していきたいと考えています。</p> <p>また、芦屋市はお困りです課があるので、そちらにご提案いただく等、なるべく皆さんのお声を聞けるよう考えていきます。</p>
16	<p>(質問・ご意見)</p> <p>南芦屋浜には未入居の宅地が 300～400 戸分残っている。子育てのしやすい生活利便性の高いまちづくりを推進すれば 1000～1500 人の人口増と税収入が見込めるので、県企業庁に物申してほしい。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>平成 30 年の高潮被害の影響もあると思いますが、しっかりと取り組みます。</p>
17	<p>(質問・ご意見)</p> <p>基金残高とはどういう性質の基金なのか。市の財政基金ということなのか。ここから市の運営を全て行うという性質のお金なのか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>個人に喩えると、いわゆる貯金のようなもので、歳入が不足した際に基金を使うこととなります。基金にも様々な種類があり、財政基金というのは全ての政策事業に使えるものとなります。ただし、基金残高には、特定の分野にしか使えない特定目的基金も含まれています。</p>

18	<p>(質問・ご意見)</p> <p>ネーミングライツ等ではどんな候補があるのか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>ネーミングライツに関しては、まだ最終結果を公表しておりませんので、候補についてこの場でお答えすることはできません。</p> <p>⇒ネーミングライツ導入の検討にあたっては、サウンディング型市場調査を本年2月に実施し、複数の事業者からご意見をいただき、その時点では体育館や運動場等で導入の可能性があることが分かりましたが、その後の新型コロナウイルス感染症の影響で、事業者の経済状況に変化があると思われるので、再度聞き取りをした上で実施時期を決定してまいります。</p>
19	<p>(質問・ご意見)</p> <p>ふるさと納税の返礼品は何を考えているのか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>ふるさと納税は、実は本市に入るふるさと納税が約5000万なのに対し、他市に出ているふるさと納税が約6億となっており、芦屋市民で他市にふるさと納税をする方が多くなっています。</p> <p>⇒芦屋市民が本市に対してふるさと納税を行った場合、返礼品は提供できませんが、寄附金税額控除は適用できます。現在の返礼品は、ふるさとチョイス、楽天ふるさと納税のそれぞれのサイトに掲載していますのでご覧ください。主な返礼品は、牛肉や餃子、和菓子・洋菓子、服飾品となっています。</p>
20	<p>(質問・ご意見)</p> <p>公共施設の最適化について、今どれくらい見直しや検討が進んでいるのかももう少し詳しく公表可能な範囲で教えていただきたい。耐震強化やバリアフリーによる改修策もあると思う。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>25年前の阪神淡路大震災で復興に多額のお金がかかりました。一時期1,119億円まで市債残高(借金)が膨らみ、その後の20年は借金を返すことが大きな仕事になっていました。その結果、皆さまのご協力もあり市債が500億円をきりました。500億円をきったことから、今まで先送りにしていた公共施設の改修や建て替え、建て直しの事業に着手しました。これは、芦屋に限らず震災を経験した地域独特の傾向かと思います。公共施設が昭和40年代頃に急激に増えたので、50年、60年経過した今、最適化について検討する時期になっています。</p>

21	<p>(質問・ご意見)</p> <p>統廃合の結果、余った建物や土地を簡単に売却することはやめてほしい。売却のために統廃合をしているのでは。財政難になった理由がもう一つ理解できない。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>統廃合は、お住いの地域の事情も踏まえ、利用率が低いから統廃合するというわけではなく、必要なものは残すべきだと考えています。統廃合した後の建物は、場所によっては売却することもあると思います。人口減少社会の中でコロナも経験し、屋外空間の考え方も大きく変わってきていると考えています。例えば、人口減少になった分、緑を増やす等のまちづくりもあると思いますので、統廃合したものを全て売却するというような考えではありません。</p>
22	<p>(質問・ご意見)</p> <p>公共施設の統廃合は予算や少子化方向を見据えると致し方ないと思うが、一方で高齢化及び高低差の大きい地理的状況での「アクセス」、足の便を考慮していただきたい。イベント開催時のみのシャトルバス等、路線バスより短い距離だが必要。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>現在、コミュニティバスについての勉強会をバスが通っていない地域の方と行政でさせていただいています。今後は、高齢者の車の運転も話題になっているので、技術の進み具合や課題を注視していきます。</p>
23	<p>(質問・ご意見)</p> <p>地域福祉計画楽しみにしています。総合計画の「ASHIYA SMILE BASE」の広報が今一つと感じています。行税制改革にも是非。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>「ASHIYA SMILE BASE」は来年度から始まる総合計画のキャッチフレーズとして付けているものです。芦屋市全体が家庭となり、皆さんが笑顔で毎日楽しんでいただけるようにという思いを込めて付けました。</p>

24	<p>(質問・ご意見) 人口が増える魅力ある芦屋にすることが重要。</p> <p>(市からの説明・回答) 子育て世帯の人にも選んでもらえるようなまちづくりをしていきます。人口減少は日本全体で避けられないので、そこを見据えながら多くの人に選んでいただけるようなまちづくりをしたいと考えています。そのためには必要などころにはお金をかけていきます。</p>
25	<p>(質問・ご意見) 費用削減とオープンに役立つので、議員のうち2名をボランティア枠(抽選)に。OB数人を雇って「いります課」を設置し、働いている間に感じていた無駄についてOBなら忖度なく言えるのでは。スマートシティの推進。できることは全て民間へ。</p> <p>(市からの説明・回答) 「いります課」はおもしろいアイデアだと思いますので、検討していきます。 神戸市がスマートシティの取組を進めていますので、連携できるところは連携していきたいと考えています。</p>
26	<p>(質問・ご意見) 歳入確保に税込増も加えてほしい。統廃合について、民間に貸し出して運用を任せる等で維持はしてほしい。業務効率化について、スリム化だけではなく、市民のアイデアを取り入れて「仕組み」「追加サービス」含め効果を上げる。公開するデータについて、民間・市民と相談。</p> <p>(市からの説明・回答) これからの行政サービスは、市民の皆さまや民間企業との連携が欠かせないと考えておりますので、業務効率化等においても官民連携を念頭に置いて行政運営をしていきます。 ⇒歳入確保については、様々な手法の研究を行っていきますが、総合計画及び創生総合戦略の目的とする人口減少に歯止めをかけ、多くの人に選ばれるまちであることが税込の確保にもつながるものと考えています。 公共施設の維持管理は、既に指定管理者制度の導入をしているところですが、今後は、新たな施設運営手法を研究・推進するとともに、必ずしも市の所有を前提としない取組も検討してまいります。</p>

27	<p>(質問・ご意見)</p> <p>使用料見直しは誰に対しするものか。市民の負担は増えるのか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>今年度、一度使用料の見直しをさせていただきました。引上げをしているところもあり、様々なお声もいただいておりますが、公平性を担保しながら適時使用料の適正化をしていきます。</p>
28	<p>(質問・ご意見)</p> <p>富田碎花旧居でのイベントとワークショップの開催で収益を上げ、マイナス部分を補うことでプラスの税収入をあげていく。企画次第で可能。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>色々な面白い企画を実施し、収入増になればいいと考えています。</p>
29	<p>(質問・ご意見)</p> <p>新たな行財政改革は待ったなしの課題であり、令和3年から取り組むべきではないか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>令和3年度からスタートの新たな行財政改革の策定を急ピッチで進めているところです。</p>
30	<p>(質問・ご意見)</p> <p>コロナ太りや健康面で不安を感じている方も多くいると思うが、芦屋市で公共施設のアリーナが青少年センターの一つしかなく、稼働率はほぼ100%。利用したい人はいるが、利用できる施設がないという現状があるので、健康促進、アリーナのあり方も考えてほしい。また、予約方法も改善してほしい。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>予約の仕方に関しては青少年センターだけでなく、例えば市民センターもインターネットで予約はできますが、最終的にはお金を払いに行かなければならないので、改善はしていきたいと思います。</p>

31	<p>(質問・ご意見)</p> <p>市民に対する行政の情報公開が遅い印象がある。政策決定の前の段階，起案された時点で市民に広くに伝えていただき，意見を述べられるような形にしてもらいたい。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>今日のような場で共有させていただき，具体策が上がってくるような時には事前にお知らせができるようにします。</p>
32	<p>(質問・ご意見)</p> <p>職員はどのように市長の方針から目標を作り，達成しようとしているのか。職員の雇用カットをせずに現状で生きていくためにはどうすべきなのか。市長の命題があり，それをブレイクダウンしてどうするのか。コスト意識があるのか，ないのか。芦屋市のサービスは非常に満足しているので，これを維持してほしい。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>レビュー事業として職員がプレゼンテーションした上で事業を決定しており，コストも含め事業の必要性や職員の事業に対する意識を確認しています。基本的には職員の主体性が重要だと認識しています。</p>
33	<p>(質問・ご意見)</p> <p>IoTなどの機器はすぐに変わるので，市単独で整備を進めるのではなく，国県市などと連携して統一していただきたい。また，お金をかけるものにはかけていただきたい。決めたものも時代の変化に合わせて変革していただきたい。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>人口減少やコロナ等，今の状況をチャンスと捉え，50年先，100年先をも見据えて選択と集中を徹底した行財政改革を進めていきます。</p>

34

(質問・ご意見)

基金が減少していく中、JR 芦屋南駅の再開発はどうなるのか。再開発を是非継続してほしい、理由は、未来の芦屋の価値の維持向上、交通便利化、民間、JR との信頼確保、もし辞めたら他のプロジェクトも民間とできなくなるという意見もある。再開発が行財政改革に寄与するのか。

(市からの説明・回答)

JR 芦屋南再開発は特別会計という一般会計ではない別の会計があり、その当初予算が議会で否決されました。理由の一つとして、長期財政収支見込が 10 年後にはマイナスになることを議会から大変ご心配いただいている状況が挙げられます。12 月議会ではなるべく事業費を削減したものを提出し、ご賛同いただきたいと考えています。JR の工事を再開発に合わせて実施し、駅南側の車と歩行者を分け、バリアフリー化し、安全を確保したうえで利便性を高めるという計画を立てています。現在、南側にお住まいの方は北側のバス停で降りていただいているので、バスロータリーを整備することで、南側も北側もスムーズになると思われます。皆さまにご理解頂けるように丁寧に説明し、しっかりと進めていきます。

35

(質問・ご意見)

JR 芦屋南の再開発について、北側のラポルテでは閉まっているお店もあり、客の目線で見ると儲かっているのか心配になる。再開発すると南側はもう少し客が集まるのか、税金はどうなるのか、どのように目算されているのか気になる。

(市からの説明・回答)

南側ですが、再開発ビルは建てますが、現在お商売されている方が 8 割入ることになりますので、店舗の面積が大きく広がるわけではありません。芦屋は人も面積も狭いので商業施設を増やしてもお商売としては難しいと考えており、現時点では市民の方が集まっていたりするような公益施設を作りたいと考えています。

36	<p>(質問・ご意見)</p> <p>文部科学省から、中学校のクラブ活動は地域へという大きな方針が示されたので芦屋市のお考えを聞きたい。また、地域に戻すには箱もないといけない。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>従来は学校が全てやっていましたが、地域人材の助けも必要だと考えています。現在も地域の方に入っている部分もあり、連携しながらどのような形が生徒にとって有効か、先進的に取り組んでいる市町の情報収集をしながら研究していきます。</p> <p>また、色々な面で御協力いただけたらと考えています。</p>
37	<p>(質問・ご意見)</p> <p>児童用の PC は付与か、貸与か。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>タブレットは小学校 1 年生から中学校 3 年生までの児童生徒に貸与します。転校や卒業時は学校に返却していただきます。</p>
38	<p>(質問・ご意見)</p> <p>芦屋川の氾濫調査。さらなる津波対策、高潮対策について。近年、台風・洪水が多くなってきており、これまで考えてきた設計以上の対策が必要になるのではないか。設計の条件や雨量の調査、リスクを調べて災害マップを見直してほしい。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>芦屋川に関しては現在、県が計画を立案していますので、またお話をさせていたいただきたいと思えます。</p> <p>高潮対策に関しては、30 年度の台風 21 号で高潮被害が起こりましたので、南側に関しては工事を進めており、来年の 6 月には完成する予定です。中壁に関しては完成しています。県の管轄になりますが、防潮堤のかさ上げを予定しており、数年かけて随時工事を行っていく予定です。</p>

39	<p>(質問・ご意見)</p> <p>マンションの管理適正化の推進に関する法律の周知等に関し、現在の住宅課ではなく専門の課を設置してほしい。築50年以上の集合住宅、マンションが今後増加していき、住人の高齢化等の課題も多数あるので対策が必要ではないか。経年劣化の民間マンションの問題があるが、各マンションの修繕、修理について資産確保はできているのか。管理経費の運営は意識高く行えているのか。管理会社との関係はどうなのか。マンションの将来の課題が結構ある。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>芦屋にお住いの半数以上のかたが集合住宅にお住まいになっている状況です。これから大規模修繕等も必要になってきますので、専門の課を設置するかどうかは検討いたします。今後、特に問題になるのが小規模の集合住宅だと考えていますので、しっかりと発信、啓発をしていきます。</p>
40	<p>(質問・ご意見)</p> <p>目指す方向、「～のまち芦屋」というようなキャッチコピーが必要ではないか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>⇒現在策定中の次期総合計画では、芦屋市が将来にわたり住んでよかったと誇れるまちであり続けることを目指した「ASHIYA SMILE BASE」を掲げ、人がつながり、誰もが輝く、笑顔あふれる住宅都市を目指します。</p>
41	<p>(質問・ご意見)</p> <p>福祉について、隣の西宮市、明石市とは相当異なると思うがどのように考えるのか。</p> <p>(市からの説明・回答)</p> <p>⇒総合計画のまちづくりの基本方針のもと、本市の状況に応じた福祉施策を進めているところです。今後も市民の皆さんのご意見もお伺いしながら、福祉施策を充実し、住み続けたいまち・住んでみたいまちとしての魅力を高めていきます。</p>

42	<p>(質問・ご意見) 宮川けやき通りの渋滞を解消してほしい。</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒抜本的な対策としては、都市計画道路稲荷山線の整備であり、未整備の都市計画道路の中でも、優先すべき路線と考えていますが、現時点では事業実施の目途はたっていません。</p>
43	<p>(質問・ご意見) 歩道走行の自転車に制限速度を時速 20 キロに定めていただきたい。根拠は、交通に関する教則が、速度を落としながらと教導していること。(教則は芦屋市自転車ネットワーク原案)</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒自転車の速度規制は出来ませんが、自転車走行に関するルールやマナーの啓発に努めていきます。</p>
44	<p>(質問・ご意見) 幸福とは何か。大切なものを発信する講演やパネルディスカッションなどをしてはどうか。</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒現在、次期総合計画を策定しており、策定後の発信方法については、頂戴した意見を踏まえて広く発信できるように努めていきます。</p>
45	<p>(質問・ご意見) 環境 (CO2, 大気汚染, 生態系) 経済 (イノベーション増, 雇用増, 市民参加) の視点を「社会面」以外に加えてほしい。</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒環境については、引き続き調査啓発に努めていきます。 経済については、芦屋市商工会コワーキングスペースで創業に向けた支援や事業者同士の交流事業を始めています。ここから生まれたイノベーションを支援することで、本市の魅力を高めていきます。</p>

46	<p>(質問・ご意見) JR 北側の駅前の賑わい及び公共交通網の未来化を目的に都市計画してほしい。</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒JR 駅南側と併せた駅周辺の都市機能の充実とともに、交通利便性の高い本市の立地を活かした交通ネットワークの形成や、利用環境の向上を図っていきます。</p>
47	<p>(質問・ご意見) 2025 年の大阪万博とも連携してほしい。</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒大阪万博は関西にとって明るいニュースだと思っています。大阪万博に限らず、様々な事業において官民連携を進めていきます。</p>
48	<p>(質問・ご意見) 前市長が「庭園都市宣言」されてオープンガーデンの参加者も増加しているようだが、残念ながらその成果が見えていないように思う。他市の駅前の花壇，オープンガーデン，どれをとっても手入れをされている方の苦勞が反映されず，中々良い状態にあるとは言えない。</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒オープンガーデンの参加者数の増加だけでなく，質の向上に向けて取り組みます。</p>
49	<p>(質問・ご意見) 芦屋病院の花壇はきれいに維持されているが，敷地内の枯れた樹木や一部花壇は放置されたままになっている。</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒敷地内の花壇のうち建物に近接する花壇は，ボランティアグループの方々が主体となり整備いただいております。その他の花壇や樹木等は，毎年予算の範囲内で順次整備を行っています。</p>

50	<p>(質問・ご意見) 生産年齢人口の減少に対して、どのような対策をしているのか。</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒現在策定中の次期総合計画や新行財政改革において、人口減少に対応したまちづくりを進めていきます。</p>
51	<p>(質問・ご意見) 市民を納得させて施策を進めてほしい。</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒オープンミーティングやタウンミーティング等を通じて市民の皆さまへ説明し、ご意見等をお伺いしていきます。</p>
52	<p>(質問・ご意見) 自然を活かしたブランドづくりを(例:六甲山の整備,南芦屋でグランピング)</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒現在策定中の次期総合計画において、「地域資源を生かし、空間を活用する、これまでとこれからの融合」を基本方針の1つとしており、自然も含めたブランドづくりを進めていきます。</p>
53	<p>(質問・ご意見) ふるさと納税に寄与する名産品,名物の開発。</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒引き続き,芦屋の魅力ある商品を返礼品としてアピールしていきます。</p>
54	<p>(質問・ご意見) 地域の課題を理解し,市の計画立案に活かすため,市職員が地域に出てくるようお願いする。</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒目的意識と想像力を持って仕事に取り組むよう職員に呼び掛けており,今後も市民との協働事業や研修の機会を通じて実践していきます。</p>

55	<p>(質問・ご意見) 今日の会議こそオンラインを使い、オープンな市民参加型にしてほしい、オープンな芦屋とは。</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒本日の市長説明については、ホームページにて動画で公開しています。オンライン会議については、今後、検討していきます。</p>
56	<p>(質問・ご意見) コミスクのあり方とは。</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒市内に9つあるコミュニティ・スクールは、主に小学校を学校の教育活動に支障のない範囲において地域住民に開放し、自主的な文化活動・スポーツ活動や地域活動を通じて、学校・地域・家庭の連携と住民相互の連帯感や自治意識を高め、より良いコミュニティの創造・発展を図ることを目的として活動しています。 コミュニティ・スクール活動における学校施設の管理については、運営委員会が責任をもって当たっており、役員や指導者は全てボランティアです。</p>
57	<p>(質問・ご意見) 空き家対策は何をしているのか。</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒毎月第2月曜日の午後に「空家相談」を実施しています。また、空き家を活用する方を対象に改修費の一部を補助する「空き家活用支援事業」を実施しています。</p>
58	<p>(質問・ご意見) コロナ禍にあってできること、工夫できることを皆さんと一緒に考えていきたい。</p> <p>(市からの説明・回答) ⇒新型コロナウイルス感染症は、これまでのライフスタイルや働き方を大きく変容させました。これまで常識とされてきた考えを抜本的に変え、今後も起こりうる社会情勢の変化にも柔軟に対応できる行政を目指して、市民の皆さまと一緒に新しい芦屋のあり方について考えていきたいと思ます。</p>